



只見線で出かけよう!!

桜が満開を迎えた只見のゴールデンウィーク。只見駅を降りる方の多くが只見線の緑色の車輜と桜を写真に収めていました。只見駅から会津川口駅間はいまだに復旧の見通しが立たない状況が続いていますが、只見線が無くなってしまったらどうなるのでしょうか？

只見線が無くなってしまったら

全国的な過去の事例を参考にすると、鉄道が無くなることで様々な問題が起こる事が考えられます。

「紅葉の美しい鉄道路線ベストテン」の第1位にも選ばれ鉄道ファンに有名な只見線は、重要な観光資源であり只見線が走らなくなれば観光客は減り、学生や高齢者などの運転免許を持たない方の交通手段の選択肢も減ります。また、災害時道路が寸断された場合の代替交通手段も無くなります。

一度寸断された路線は、さらに鉄道区間や運行ダイヤの縮小が繰り返され、鉄道施設だけが残されると管理が行われずに景観や住環境も荒廃することが考えられます。

代行バスを利用して

現在、不通区間は代行バスが運行されていますが、その利用状況がJRの復旧の判断材料とされています。

豪雨災害後、代行バス区間の利用状況は1日当たり約44・3人となっていますが、災害前には49人が利用していました。1日あたり約5人減っているという状況で、今年の9月末までに以前の利用状況まで利用者数を回復させることが当面の課題となっています。

この課題を解決するため、町民の皆さんには出来る範囲で結構ですので代行バスを利用して頂ければと考えています。日常生活や、家族や仲間と旅行に出かける際に工夫をして代行バスを利用する事で只見線の復旧に近づきます。

町や関係団体では、只見線、特に代行バスの利用者が増えるように次のような取り組みを行っています。只見線を活用する活動やイベントに補助する事業もありますのでぜひご活用下さい。

●「つながれ つながれ 只見線」応援事業

JR只見線の不通区間の再開通及び利用促進を図るため、町内の老人会、婦人会、商工観光団体、集落、学校、企業、ボランティア団体などや、この事業の目的に賛同する5名以上で結成する新たな団体などに1事業原則10万円を上限に補助を行います。

只見線のPR活動やイベント、子ども会や老人会、会社の社員旅行などで只見線を使う事業が補助対象となります。詳しくは総合政策課までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・申込先 只見町役場 総合政策課 地域振興係 ☎82-5220】



▲代行バスは只見～川口駅間を1日7便運行します

●JR只見線利用促進実行委員会事業

JR只見線利用促進実行委員会を立ち上げ、次のような事業を行う事を決めました。

〈只見線車輛ラッピング事業〉

車輛と代行バスにラッピングをおこない、乗ってみたいし見ても楽しい只見線にします。

〈観光アテンダント育成事業〉

只見線の魅力を多くの人に知ってもらうため、代行バス内に観光案内や乗客のお世話を行う観光アテンダントを配置します。

※この他にも様々な事業を予定しており、実施内容や時期が決まり次第お知らせします。

●只見線を利用したイベント

お見合いイベントや、駅前イベント、各種ツアーなどを行います。

●只見線応援団の募集

福島県では只見線応援団を募集しています。

この応援団には、只見線を愛し復旧復興を目指す個人や法人等の団体なら、どなたでも参加でき、加入特典もありますのでぜひ応援団にご加入下さい。

詳しくは下記までお問い合わせ願います。

【お問い合わせ・申込先 福島県 生活環境部 生活交通課 ☎024-521-7158】

●役場職員も代行バスを利用します

役場職員も出勤や出張時に工夫して代行バスを利用するように取組んでいきます。

また、休日等のプライベートで旅行に出かける際も可能な限り利用するよう取組んでいきます。

▶新緑の六十里を走る只見線。只見駅～会津川口駅間の美しい景色を写真に収める日が早く来ることを願います。

